

教科名	探究科	校種	高等学校
-----	-----	----	------

科目の配当				
学年	科目名	必・選	単位	授業展開など, 授業の形態
1年	探究	必	1	TT (チームティーチング)
2年	探究	必	1	TT (チームティーチング)
3年	探究	必	1	TT (チームティーチング)

科目名 (教科名)	高校探究1年 (探究科)				
担当教員	香月 敦 長澤 祐 Guillaume Albert				
学年	1	単位数	1	必修・選択・展開	必修

■ 授業の目的

1. 深い学び、対話的な学び、主体的な学びを通し、生徒の問題解決能力を育てる
2. 国際社会の課題 (SDGs) についての知識や、問題意識を持たせ、卒業後の行動につながる力を育成する
3. 学びの方法 (アカデミックスキル) を体験的に学び、主体的に情報の収集・表現・発表ができる能力を育てる
4. 修得した知識・アカデミックスキルと、自らの問題意識をもとに、論文を作成する

■ 授業計画

学期	授業の項目	内容
1 学期	①情報を整理し文章でまとめよう	<ul style="list-style-type: none"> ・情報をイメージマップ・ベン図などの思考ツールを使って整理し、文章にまとめさせる ・国際社会についての講演の内容から知識を得つつ、話の内容を要約するスキルを習得する ・テキストを用い、グループでポスターセッションの形にまとめさせる
	②要約しよう	
	③ポスターセッションをしよう	
2 学期	④本から情報を抜き出そう	<ul style="list-style-type: none"> ・文献の内容から必要な情報を正しく読み取るスキルを身につける ・論理的に話すスキルを身につけるために、ディベートを行う ・答えのない問いについて番組を参考に議論し、深い自分の意見を持たせる ・表・グラフからデータを読み取り表現する方法についてグループワークを行う
	⑤ディベートをしよう	
	⑥平和について話し合おう	
	⑦表・グラフから情報を読み取ろう	
3 学期	⑧問いを立てよう	<ul style="list-style-type: none"> ・論文制作の第一歩として、問いを立てる練習を行う ・テキストを用い、個人でレジユメの形でまとめさせる
	⑨レジユメを使って発表しよう	
評価 の観 点	【関心・意欲・態度】	実社会や実生活の中から問いを見出し、主体的・協働的 (協同的) に課題の解決に取り組み、学習したことを自己の生き方に生かし、主体的にさらに高次の課題に取り組もうとしている
	【思考・判断・表現】	実社会や実生活の中から問いを見出し、探究的な見方・考え方を用いて、自分で課題を立て、情報を集め、整理してまとめ、発表している
	【知識・技能】	学習課題に関する概念的知識を獲得し、よりよい課題解決のために必要な知識や技能を身に付けており探究することの意義や価値を理解している
評価の 方法	<ul style="list-style-type: none"> ・制作物・発表・課題レポートと参加態度など平常点を加味して評価する ・定期テストは実施しない ・AEコースは必要に応じて内容を変更しながら、イメージ形式で授業をする 	
教科書・ 副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科書 : なし ● 副教材 : 今がわかる 時代がわかる 世界地図2019 (成美堂出版) ワークシートを適宜配布する 	

科目名 (教科名)	高校探究2年 (探究科)				
担当教員	糸永 佳正 紅谷 一花 芦塚 孝至 坂本 幸洋				
学年	2	単位数	1	必修・選択・展開	必修

■ 授業の目的

1. 深い学び、対話的な学び、主体的な学びを通し、生徒の問題解決能力を育てる
2. 国際社会の課題 (SDGs) についての知識や、問題意識を持たせ、卒業後の行動につながる力を育成する
3. 学びの方法 (アカデミックスキル) を体験的に学び、主体的に情報の収集・表現・発表ができる能力を育てる
4. 修得した知識・アカデミックスキルと、自らの問題意識をもとに、論文を作成する

■ 授業計画

学期	授業の項目	内容
1学期	①ポスターセッション (個人) で発表しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の問題視意識からテーマを決めて、B2サイズの画用紙でポスターセッションをさせる ・級友のポスターセッションを参観・説明を聞きながら、自らの知識を増やす ・答えのない課題について、論理的に根拠を示して説明する技術を高め、議論を通して自分なりの意見を持つようにさせる
	②ポスターセッションから学ぼう	
	③ディベートしようII	
2学期	④自分でテーマを決めて発表しようII	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の問題視意識からテーマを決めて、レジュメで説明させる ・答えのない課題について、論理的に根拠を示して説明する技術を高め、議論を通して自分なりの意見を持つようにさせる ・自分たちの問題視意識からテーマをいくつか決め、その解決に向けて自分たちができることを企画し、チャリティー・デーで実施する
	⑤ディベートしようIII	
	⑥プロジェクトを企画、実行しよう	
3学期	⑦卒論のテーマを決めよう	<ul style="list-style-type: none"> ・高校3年時に書く論文についてのガイダンスを行い、テーマ設定、調査内容について助言を行う ・論文のテーマについてプレゼンテーションを行う
	⑧テーマについて調べスライドで発表しよう	
評価の観点	【関心・意欲・態度】	実社会や実生活の中から問いを見出し、主体的・協働的 (協同的) に課題の解決に取り組み、学習したことを自己の生き方に生かし、主体的にさらに高次の課題に取り組もうとしている
	【思考・判断・表現】	実社会や実生活の中から問いを見出し、探究的な見方・考え方を用いて、自分で課題を立て、情報を集め、整理してまとめ、発表している
	【知識・技能】	学習課題に関する概念的知識を獲得し、よりよい課題解決のために必要な知識や技能を身に付けており探究することの意義や価値を理解している
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・制作物・発表・課題レポートと参加態度など平常点を加味して評価する ・定期テストは実施しない ・AEコースは必要に応じて内容を変更しながら、イメージ形式で授業をする 	
教科書・副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科書 : なし ● 副教材 : 今がわかる 時代がわかる 世界地図2017 (成美堂出版) ワークシートを適宜配布する 	

科目名 (教科名)	高校探究3年 (探求科)				
担当教員	紅谷一花 岡本弘之 福田美穂 篠原早裕里 平尾三和子 Guillaume Albert				
学年	3	単位数	1	必修・選択・展開	必修

■ 授業の目的

1. 深い学び、対話的な学び、主体的な学びを通し、生徒の問題解決能力を育てる
2. 国際社会の課題 (SDGs) についての知識や、問題意識を持たせ、卒業後の行動につながる力を育成する
3. 学びの方法 (アカデミックスキル) を体験的に学び、主体的に情報の収集・表現・発表ができる能力を育てる
4. 修得した知識・アカデミックスキルと、自らの問題意識をもとに、論文を作成する

■ 授業計画

学期	授業の項目	内容
1 学期	①卒論ガイダンス・テーマ・ゼミ決定	・テーマは春休み中に考えさせる
	②第1回ゼミ発表	・テーマについて調べ発表
	③第2回ゼミ発表	・1回目の課題をもとに再構成
	④論文の構成表を作ろう	・2回の発表をもとに設計図制作
2 学期	⑤論文の下書きをしよう	・構成表をもとに論文を制作
	⑥論文をもとに発表しよう	・発表+論文の添削
	⑦論文を書こう	・添削をもとに論文制作・提出
3 学期		・論文集を制作し配布予定
評価 の観 点	【関心・意欲・態度】	実社会や実生活の中から問いを見出し、主体的・協働的 (協同的) に課題の解決に取り組み、学習したことを自己の生き方に生かし、主体的にさらに高次の課題に取り組もうとしている
	【思考・判断・表現】	実社会や実生活の中から問いを見出し、探究的な見方・考え方を用いて、自分で課題を立て、情報を集め、整理してまとめ、発表している
	【知識・技能】	学習課題に関する概念的知識を獲得し、よりよい課題解決のために必要な知識や技能を身に付けており探究することの意義や価値を理解している
評価の 方法	<ul style="list-style-type: none"> ・制作物・発表・課題レポートと参加態度など平常点を加味して評価する ・定期テストは実施しない ・AEコースは必要に応じて内容を変更しながら、イメージ形式で授業をする 	
教科書・ 副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科書 : なし ● 副教材 : 今がわかる 時代がわかる 世界地図2017 (成美堂出版) ワークシートを適宜配布する 	